

原 因 値下反對、待遇改善  
参加人員 八〇名  
解決條件

### キリンヤシャツ株式會社

(第二回)

發生 五年二月二十五日  
解決 五年五月三日  
原因 職首値下反對  
参加人員 男女四十五名  
解決條件

### 關西紡織勞働組合

柏原紡績株式會社は賃銀値下の加重を強制するに至りその結七月七日嘆願書を提出、ストライキを決定した。七月十日柏原署長の調停にて大勝利解決した。其後同工場に於いて、田中ナヲ、山崎ミツノ、坂口徳松、岡田シマの紛議をそれ〴〵勝利解決した。  
富田林河内紡績の山田正男の解雇に手當を戦ひとり、幅

二二  
工場四名の解雇手當を戦ひ取つた。  
合同紡天満工場にては社宅料金値下運動を起し、後日會社に於て改正せしむることを公約せしめた。尚同工場に於いては、村田案山子、荒木サ、エ其他十二名の解雇退職手當を戦ひ取つた。×××事件のたに××に連行せられたる八名の者に對する解雇に對しては、釋放後嚴重なる交渉を以て勝利解決をなした。

合同毛織の工場閉鎖には外部的に運動をなし、數回に涉つて協議會を開き、互助會の幹部に、會社に側面的攻撃と解決をそく進せしめた。尙組合同盟の共同戦線申込に對しては、こゝろよく受諾し共同の動作を行つた。  
内外綿傳法工場に組織された、大阪金屬内外綿班の争議には吾組合は主體として指導し、勝利解決した。同工場の争議は滿期慰勞金減額反對である。

大和田支部の争議は八月二十日要求書を提出、同時に解雇者八名は従業員引出しのために工場の中にナタレ入つたが、××と會社の暴力壓迫によつて失敗したが、翌二十二日嘆願書の半々を入れるに至り短時日にして大勝利解決した。小津武林企業會社の二名の解雇をとりえ戦ひ有利七日解決した。濱谷明子の工場閉鎖に對しては約三分の一の従業員によつて、争議を決定し大勝利解決した。  
高槻支部に於いては組合の彈壓を續けてゐたが、宮地君

の解雇がなされるや三月十二日争議を決定する用意をしたが、數名の裏切によつて引出しが失敗したが、其後解雇者を中心として強力な戦ひを續けた結果四月二十一日勝利解決した。尚同工場には、筒井、山田、大垣、中根、植木矢口等の紛議を大勝利解決した。  
鐘紡の減給には本部は全力を傾注して戦つたが今だ見るべき成果があつてはゐないように見えるが、然がしその戦の結果、中島工場に於いては二割本給に繰入るゝことを工場長に言明せしめた。

### 宣傳組織部

本年度の宣傳組織部は、過般の總同盟分裂問題、争議の激發等によつて、組織的な活動を展開する事は出来なかつたが、然し新たに港灣部従業員組合、保健部従業員組合の二組合を創立し、更に大阪莫大小従業員組合の加盟を見たこととは特記すべきである。

### 政治部報告

聯合會政治部は各組合政治部と協力して積極的に先に社

民黨を支持し、後に全國民衆黨に熱意的支持をなし、昨年六月の市會選舉には我が組合の大矢、山内、山口の三氏を別表の通りの高點を以つて當選せしめ、共に更に市内各所の衛生組合評議員選舉に組合員を立候補せしめ、多數の當選者を出し、本年二月行はれた普通選第二次の總選舉には大矢、田方、古野の三氏を應援して相當の得票を得た。而もこれ等の各選舉を通じて各支部の組合員が物質的精神的の應援を白熱的に致された事を感謝して市、國會議員の選舉の結果を報告したい。

#### 普通選第一次市會議員選舉の結果

區名	氏名	得票
此花區	大矢 省三	三、五六三
港區	田方 清臣	五、一八三
北區	古野 周藏	二、四一一
西成區	山口常二郎	一、六五五
西淀川	山内 鏡吉	一、九二九
南區	庄 健一	一、三五〇
住吉區	山本 圓吉	一、三八三
東成區	川村保太郎	二、七五三
東區	辻井安次郎	一、三五一
東淀川	瀧川末次郎	二、〇八七
此花區	大島 新一	二、〇八七